

関係機関長殿

沖縄県病害虫防除所長
(公 印 省 略)

病害虫発生予察注意報について

みだしのことについて、沖縄県病害虫発生予察事業実施要領に基づき、注意報第2号を発表したので送付します。

平成17年度病害虫発生予察注意報第2号

- 1 病害虫名 イモキバガ
- 2 発生地域 沖縄本島中・南部
- 3 作物名 かんしょ
- 4 発生程度 多
- 5 注意報発令の根拠
 - 1) 7月下旬の調査の結果、被害葉率は16.4%(前年7.6%、平年3.1%)と平年より高かった(図1)。
 - 2) 各地の被害葉率は本島南部(具志頭村)で10.3%、中部(読谷村)26.0%であった。
 - 3) 7月～8月にかけて発生のピークが見られ、9月頃まで発生が多い。

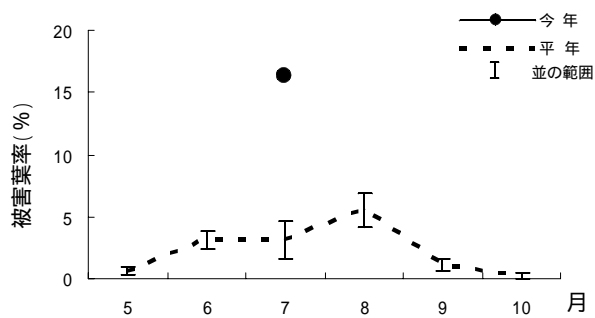


図1 かんしょにおけるイモキバガの発生推移



6 防除上注意すべき事項

- 1) 葉面積の半分以上が食害されるといもの収量と品質が低下するため、発生初期の防除が有効であり、被害葉が目立ちはじめたら、薬剤散布する。
- 2) かんしょ栽培地域では、成虫が移動し被害が拡大しやすいので、隣接する圃場も含めた広範囲な防除が効果的である。
- 3) イモキバガの他に、一部ほ場ではハスモンヨトウ、ナカジロシタバ、エビガラスズメの発生が見られるので、適宜防除する。